

教科	公民	科目	公共	年次	2	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		公共（実教出版）					

学習目標	(1) 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。	
評価の観点	① 知識・技能	現代社会の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	② 思考力・判断力・表現力	現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。
	③ 学びに向かう力・人間性等	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価の方法	定期考査に加え、提出物（学習プリント等）、小テストの成績、作成したレポートや資料などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度等を、総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解します。 ・古今東西の先人の取組、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解します。
	2 現代の民主政治と日本国憲法	・人権保障のあゆみや日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解します。 ・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解します。
後期	3 現代の経済社会と国民生活	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解します。
	4 国際社会と人類の課題	・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を理解します。
	5 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究します。